

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2011年 9月 日

派遣者氏名（専門分野）	畑井 恵 （西洋美術史）
-------------	--------------

派遣期間	2011年 8月 23日 ～ 2011年 9月 2日
------	----------------------------

**派遣研究機関**

国	都市	訪問機関
フランス	パリ	フランス国立図書館、フランス国立美術研究所付属図書館、フランス国立美術館アルシーヴ、クストディア財団／オランダ研究所

**利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）**

◇フランス国立図書館（Bibliothèque nationale de France）

一般用の開架式図書館 Haut-de-Jardin と、研究者用の閉架式図書館 Rez-de-Jardin とに分かれている。Rez-de-Jardin 利用のための登録手続きには、申請書・在学証明書・指導教員のサイン入り推薦書・閲覧希望資料のリスト・パスポート等の身分証明書を提示する必要がある。申請書・推薦書に関しては、ホームページから書式フォーマットが入手可能（<http://accreditation.bnf.fr/jsp/preinscription.jsp>）。これら必要書類を揃え、面接審査を受ける。その際、面接官に閲覧希望の資料、利用したい館、利用期間を口頭で伝える。利用者カードの有効期限には、3日間、15日間、1年間の3種類がある。その場で顔写真を撮られ、利用者カードを受け取ったら、別の窓口で登録料を支払うと、当日から利用可能となる。資料によって所蔵先が異なるが、今回利用したのは Le site François-Mitterrand と Le site Richelieu-Louvois の2箇所である。以下に、それぞれの利用法をまとめる。

**\*Le site François-Mitterrand : Rez-de-Jardin**

全席予約制で、館内の機械、あるいはホームページからの事前予約が必要（<http://www.bnf.fr/default.htm>の"Réserver une place"から）。夏の繁忙期は、予約時刻を30分過ぎると予約が取り消される（通常の期間は1時間後）。いくつかの部屋に分かれており、自身の専門に近いところを選択する。報告者が使用していたのは W : Oriental literature and art の部屋である。建物入り口で荷物チェックを受け、さらに Rez-de-Jardin 内に入るには、手荷物を規定の透明ケースに入れ、それ以外はクロークに預ける必要がある。その際に受け取る引き換えの半券を退館時に渡して荷物を受け取る。また、Rez-de-Jardin の出口で手続きを取れば、2時間までの一時退館が可能となる。

資料の閲覧には、利用者カードを用いてログインし、予約を行う。資料の到着が同画面で確認できれば、利用者カードを持って各部屋のカウンターに申し出る。読み終わったものは、同様にカウンターへ返却する。所蔵図書情報はインターネット上でも確認でき、席の予約とともに、各日5冊までの事前予約が可能である（[http://catalogue.bnf.fr/jsp/recherchemots\\_simple.jsp?host=catalogue](http://catalogue.bnf.fr/jsp/recherchemots_simple.jsp?host=catalogue)）。インターネットケーブルが2席に一つ備え付けられており、パソコンを持ち込めば資料予約などの手続きがスムーズになる。貴重資料の閲覧に関して、コンピューター上では予約ができないため、Yの部屋に直接出向く必要がある。利用者カードを提示し、閲覧希望の書誌情報、利用目的や研究テーマを所定の用紙に記入する。指定された部屋内の席でのみ閲覧が可。メモなどが必要な場合は、ペンではなく鉛筆やシャープペンシルを使用のこと。

また、資料の複写にはチャージ式のコピーカードが必要となる。専用の部屋へ行き、係員に資料とコピーカードを渡して複写希望箇所を伝える。資料の1割までなど、定められた条件に反していないか確認を受ける。複写が可能なのは18時まで（複写申請は17時45分までに）。貴重資料に関しては規定が異なるため、Yの部屋の係員に要確認。

### **\*Le site Richelieu-Louvois**

受付ではまず、利用者カードと引き換えにロッカーの鍵と席番号の書かれたプレートを受け取る。所蔵資料の検索方法は Le site François-Mitterrand の場合と同様だが、閲覧希望申請はコンピューターではなく貸出しカードを使用する。閲覧希望の資料情報をカードに記入し、窓口へ提出すると席まで運ばれてくる。資料返却の際は指定された場所に置く。資料の種類や大きさによって閲覧場所が定められている場合もあるので、それぞれの指示に従う。資料の複写に関しては上記とほぼ同様。係員に資料とコピーカード、書誌情報や希望箇所を記入した複写申請書を提出する。資料の分量は 1 割までなど、定められた条件に反していないか確認を受ける。

### **◇フランス国立美術研究所付属図書館 (Institut national d'histoire de l'art)**

BnF の Le site Richelieu-Louvois と同じ場所に位置する、美術史・考古学を専門に扱う閉架式図書館。2011 年 8 月現在は、BnF の一部と INHA が、閲覧室 salle ovale 内に並存しており、窓口を使う際には注意が必要。利用者登録の際は、在学証明書 (学生証)、パスポート等の身分証明書を提示する。5 日間までの使用は無料。それ以上の利用は、別に手続きが必要とのこと。受付で利用者カードを提示し、席番号の書かれたプレートを受け取る。閲覧希望の資料情報を貸出しカードに記入し、担当窓口へ提出する。その際、席番号プレートと利用者カードを渡し、それらと引き換えに、一時退出カード (受付で提示すれば一時退出が可能) と別種の席番号プレートを受け取る。資料は席まで持ってきてくれる。読み終わった資料は窓口へ返却し、席番号を伝える。貸出しカードは、一度に 3 枚まで出すことができる。一日に閲覧可能な冊数に制限が設けられているので、多数の資料閲覧を希望する際には確認が必要。

複写はコピーカードを使って自ら行う。退館時は、一時退出カードと席プレートを返却し、元の席プレートと利用者カードを受け取った後、受付で席プレートを返却する。所蔵図書情報は公開されており、事前にインターネット上で確認できる (<http://catalogue.inha.fr/inha/Vubis.csp>)。所蔵資料のうち、書誌情報に "Communication différée" と記載のあるものは、専用のページ (<http://www.inha.fr/spip.php?rubrique350>) から申請すれば、数日後に閲覧可能となる。資料到着のメールが届くので、カウンターにその旨を申し出て資料を受け取る。時期によっては到着まで時間のかかる場合があるため、目的の資料に関しては早めに手続きを済ますのが良い。

### **◇フランス国立美術館アルシーヴ (Archives des musées nationaux)**

主にフランスで開催された展覧会関連資料が所蔵されており、事前にメールで閲覧予約を行う必要がある。受付ではパスポート等の身分証明書を提示し、入館証を受け取る。所蔵資料情報は、予約連絡の際に受け取った添付ファイルを参考に事前確認し、詳細は館内で検索するか、アーキビストに相談する。閉架式。申請により資料の写真撮影が可能。開館は月・火・木・金曜の 9 時 30 分～12 時 30 分、14 時～17 時 30 分の間。

### **◇クストディア財団／オランダ研究所 (Fondation Custodia / Collection Frits Lugt, Institut Néerlandais)**

版画や素描、書簡などの収蔵資料閲覧は予約制で、事前に担当者と連絡を取る必要がある。研究テーマや閲覧希望資料を伝えると、あらかじめ助言を受けることができる。フランス語、オランダ語ともに可。資料閲覧が可能なのは、月～金曜の 10～13 時。閲覧には、氏名・住所・研究テーマの記帳、パスポート等の身分証明書の提示が求められる。閉架式。複写は不可だが、申請により資料の写真撮影が可能。所蔵資料はある程度ホームページ上で確認できる。また、併設の閉架式一般図書館は、受付にて氏名を記帳すれば自由に利用できる。図書館では、オランダ関係の資料や当研究所発行の文献、展覧会カタログ等も閲覧可能。利用者氏名と書誌情報を貸出しカードに記入し、係員に手渡す。所蔵図書情報は公開されており、事前にインターネット上で確認できる (<http://193.252.222.2/opacweb/>)。開館は火～金曜の 13～19 時。